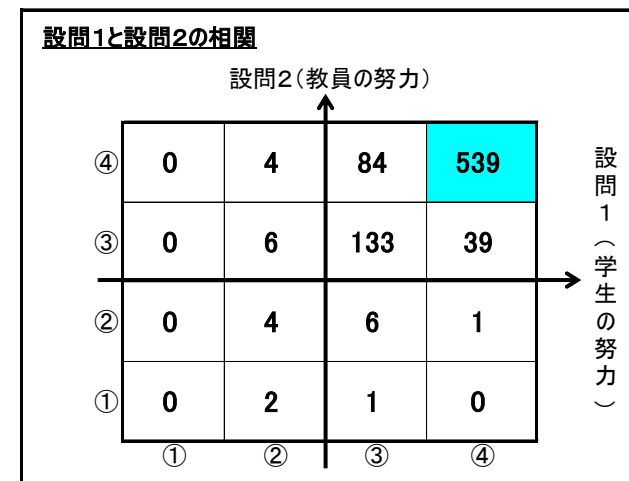
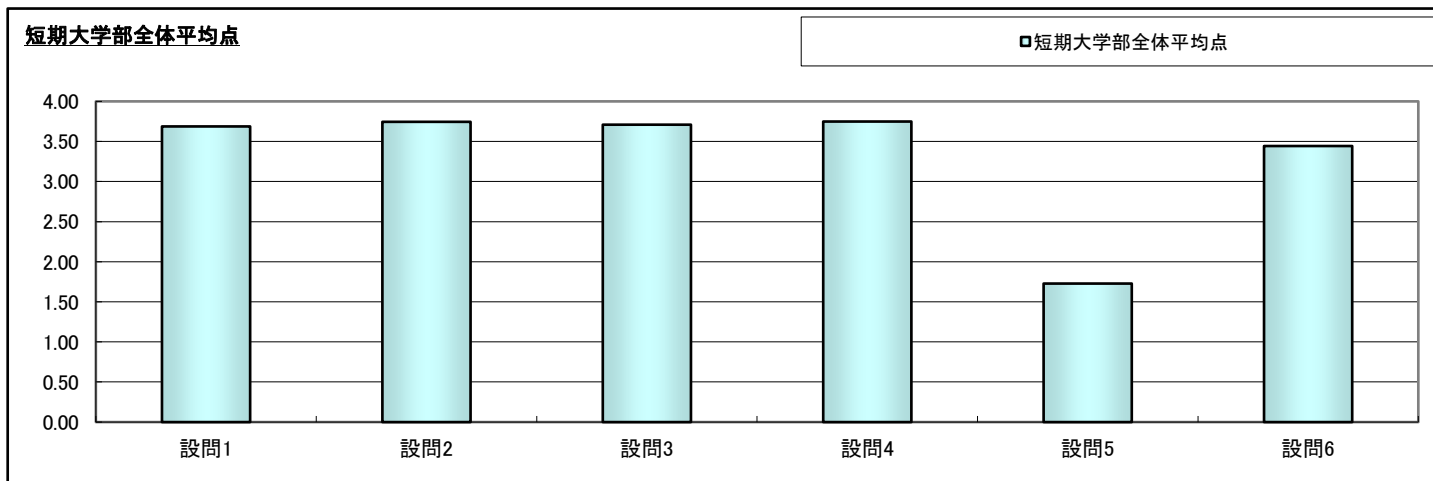


集計	短期大学部
----	-------

履修人数	1,182
回答者数	819

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.69	579	224	16	0	0	819
			70.7	27.4	2.0	0.0		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.74	627	178	11	3	0	819
			76.6	21.7	1.3	0.4		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.71	610	185	19	5	0	819
			74.5	22.6	2.3	0.6		
4	学修環境は適切でしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.75	627	181	8	3	0	819
			76.6	22.1	1.0	0.4		
5	授業時間以外で、この科目の授業1回当たりの平均的な学修時間はどの程度でしたか。(学修時間には、予習・復習・課題のほか、レポート課題作成、プレゼンテーションの発表準備、休み時間に関連事項のディスカッションをした、通学時間に関連事項を検索したなど全て含みます。) ④4時間以上 ③2～4時間未満 ②30分～2時間未満 ①30分未満	1.73	7	68	439	305	0	819
			0.9	8.3	53.6	37.2		
6	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.44	399	390	24	6	0	819
			48.7	47.6	2.9	0.7		



区分	短期大学部
----	-------

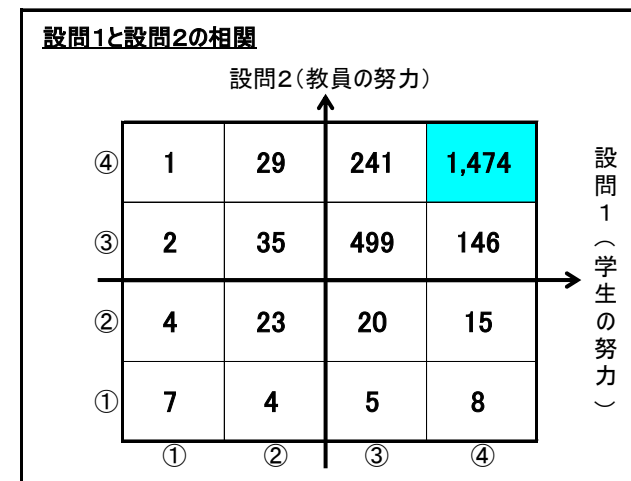
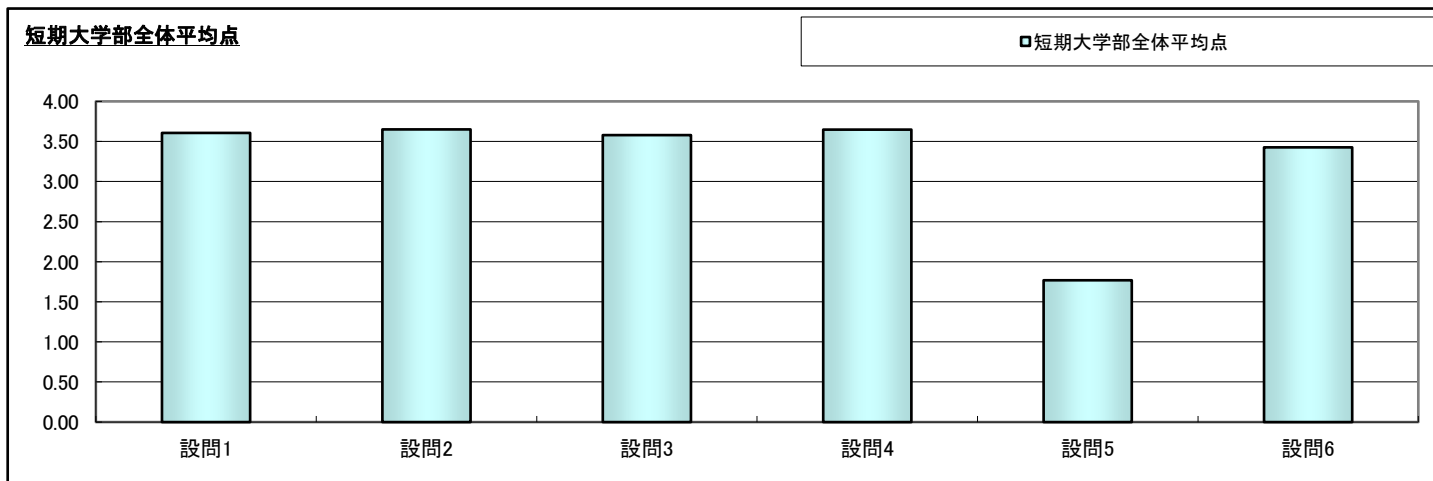
改善計画等

2022年度の1学期は、2年ぶりにすべての期間において対面授業を実施できた学期である。一昨年(2020年度)、昨年度(2021年度)とオンライン授業またはオンライン授業と対面授業のハイブリッド方式での授業を行っていた期間でも、このアンケート結果は大きな変化はなかったが、対面授業に戻ったことの影響等を注意深く分析しておきたい。まず、設問1と設問2の相関においては97.1% (=795/819) が第1象限にあり、他の期と比較しても高い水準となっており、学生と教員が相互に努力して授業を展開していたことがうかがえる。また、各設問の平均値も昨年度の1学期の結果と比較しても、設問5を除き、0.07~0.19ポイント上昇しており、この数年の他の1学期以外の期と比較しても全体的に上回っている。昨年度(2021年度)の1学期は、4月中は対面の授業が実施できたが、その後はほとんどすべての授業がオンラインとなってしまった学期である。対面授業で実施することの効果が見れているのかと予想する。ただし設問5の授業外学修に関しては、昨年度の1学期と比較して、2.00から1.77と0.23ポイントと大きく下がっている。これは「①30分未満」が28.8%から41.5%に大きく増加したのに対し、それ以外の時間帯とりわけ「③2~4時間」が17.2%から9.4%に大きく減少していることが原因である。コロナ禍の2年間やそれ以前の年度からみても授業外学修時間は徐々に下落しており、この3年間では最も低い平均値となっている。言うまでもなく、各科目の単位に必要な学修時間のうち、授業外学修は各回で1単位は1時間、2単位は4時間必要となっており、それを大きく下回る結果となっていることは、より授業外学修時間が少ない科目やその特徴を調査するなどして、改善していく必要を感じている。なかなか難しい点ではあるが、粘り強く改善方法についてFD等で検討を重ねていきたい。また、同様に大きな問題だと考えられるのは、このアンケートの回答率であり、今回は819/1,182=69.3%と低い水準のままとなっている。オンラインではなく対面で各科目は学生に依頼ができる状況となっていることもあり、正確なデータを得るためには、学生だけでなく教員へも注意を一層促していく必要がある。なお、学科別のデータも示されているが、本短大はほとんどの科目が両学科共通科目であるため、特筆すべき点は見られなかった。

集計	短期大学部
----	-------

履修人数	3,737
回答者数	2,513

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.61	1,643	765	91	14	0	2,513
			65.4	30.4	3.6	0.6		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.65	1,745	682	62	24	0	2,513
			69.4	27.1	2.5	1.0		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.58	1,636	729	116	32	0	2,513
			65.1	29.0	4.6	1.3		
4	学修環境は適切でしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.65	1,736	692	62	23	0	2,513
			69.1	27.5	2.5	0.9		
5	授業時間以外で、この科目の授業1回当たりの平均的な学修時間はどの程度でしたか。(学修時間には、予習・復習・課題のほか、レポート課題作成、プレゼンテーションの発表準備、休み時間に関連事項のディスカッションをした、通学時間に関連事項を検索したなど全て含みます。) ④4時間以上 ③2～4時間未満 ②30分～2時間未満 ①30分未満	1.77	113	236	1,121	1,043	0	2,513
			4.5	9.4	44.6	41.5		
6	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.43	1,242	1,129	114	28	0	2,513
			49.4	44.9	4.5	1.1		



区分	短期大学部
----	-------

改善計画等

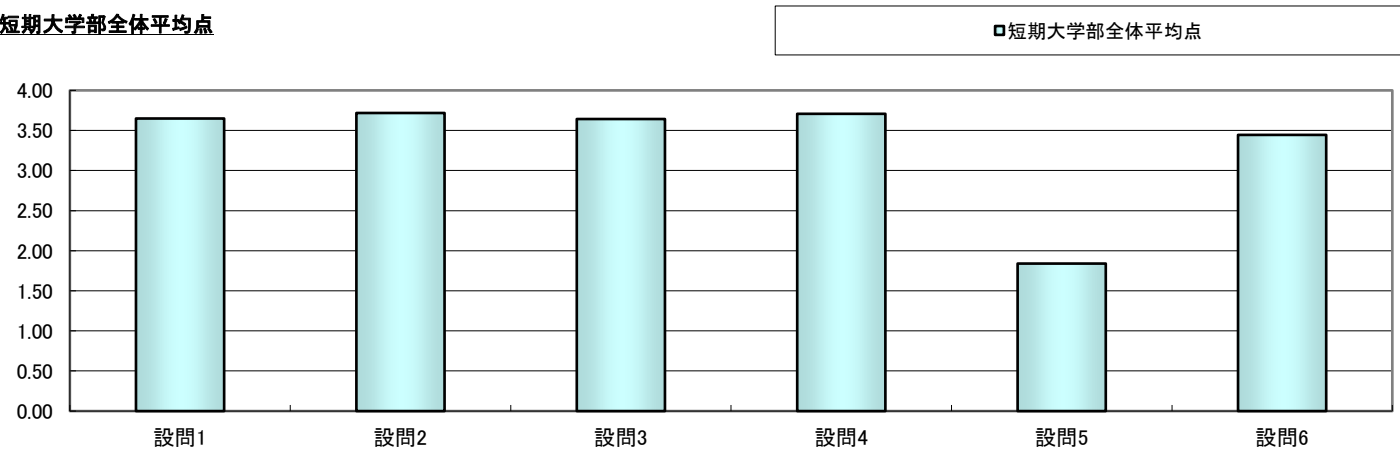
2022年度の2学期は、1学期に続いて2年ぶりにすべての期間において対面授業を実施できた学期である。一昨年(2020年度)、昨年度(2021年度)とオンライン授業またはオンライン授業と対面授業のハイブリッド方式での授業を行っていた期間でも、このアンケート結果は大きな変化はなかったが、対面授業に戻ったことの影響等を注意深く分析しておきたい。まず、設問1と設問2の相関においては93.9% (=2,360/2,513) が第1象限にあり、学生と教員が相互に努力して授業を展開していたことがうかがえる。ただし、例年と比較すると値が下がっており、直近の1学期と比較すると97.1%から3.2%の減少である。これは、主に第3象限、第4象限の学生が増加していることが原因で、設問2の教員の意欲は別にしても、設問1の学生自身の勉学に対する意欲が下がっている学生が増えていることを意味している。実際に設問1の平均値は3.61であり、昨年度(2021年度)の2学期は、実習系の授業を除き対面授業とオンライン授業がハイブリッドで実施された学期でもあったが設問1の平均値は3.66、直前の1学期は3.69であり、設問1の「意欲的に取り組んだか」の設問に「②あまりそう思わない」と「①そうは思わない」と回答した学生の合計が4.2% (=105/2,513) と例年以上に増えている。その他の設問に関しても、昨年度(2021年度)の同学期と比較して0.02～0.23ポイント値を下げている。コロナ禍前でもそのような現象はなかったが、2学期科目だけでなく、4学期制から2学期制に制度を変更したことにより、前期科目が増えている、2学期に息切れを起こしていることが原因の1つかもしい。また、1学期と同様に、設問5の授業外学修時間に関しては、1学期と同様に例年と比較しても低い水準となっており、アンケートの回答率に関しても、 $2,513/3,737=67.2\%$ と、こちらも1学期と同様に低い水準のままである。学生の意欲や教員の熱意をどのように考えているか、また、授業外学修時間や学習環境など、今後の改善点を見つける貴重な資料となるため、繰り返しになるが、学生だけでなく教員へも注意を一層促していく必要がある。なお、学科別のデータも示されているが、本短大はほとんどの科目が両学科共通科目であるため、特筆すべき点は見られなかった。

集計	短期大学部
----	-------

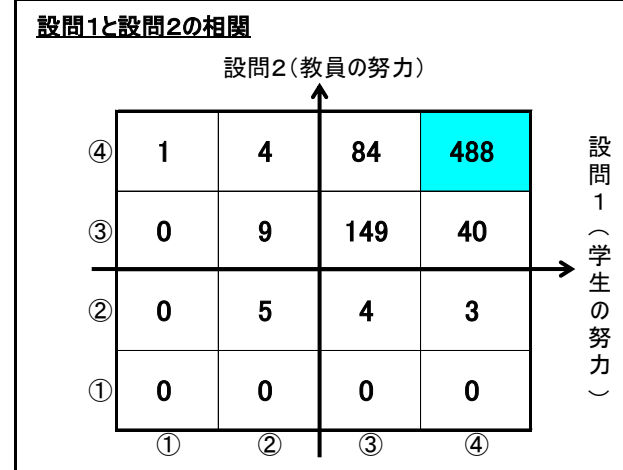
履修人数	1,151
回答者数	787

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.65	531	237	18	1	0	787
			67.5	30.1	2.3	0.1		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.72	577	198	12	0	0	787
			73.3	25.2	1.5	0.0		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.64	534	226	26	1	0	787
			67.9	28.7	3.3	0.1		
4	学修環境は適切でしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.71	567	210	10	0	0	787
			72.0	26.7	1.3	0.0		
5	授業時間以外で、この科目の授業1回当たりの平均的な学修時間はどの程度でしたか。(学修時間には、予習・復習・課題のほか、レポート課題作成、プレゼンテーションの発表準備、休み時間に関連事項のディスカッションをした、通学時間に関連事項を検索したなど全て含みます。) ④4時間以上 ③2～4時間未満 ②30分～2時間未満 ①30分未満	1.84	19	95	414	259	0	787
			2.4	12.1	52.6	32.9		
6	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.44	387	368	27	5	0	787
			49.2	46.8	3.4	0.6		

短期大学部全体平均点



設問1と設問2の相関



区分	短期大学部
----	-------

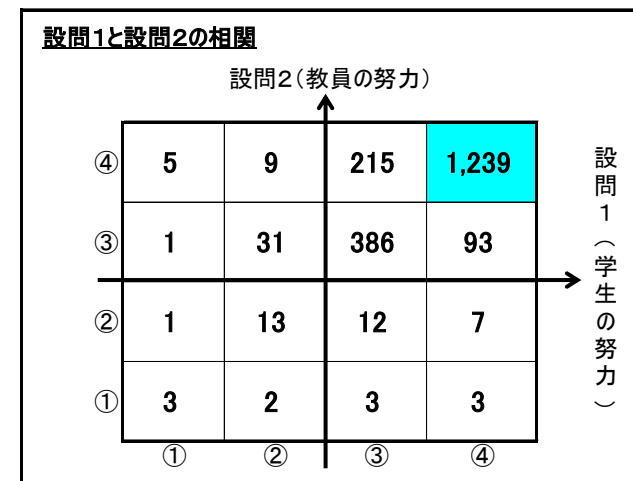
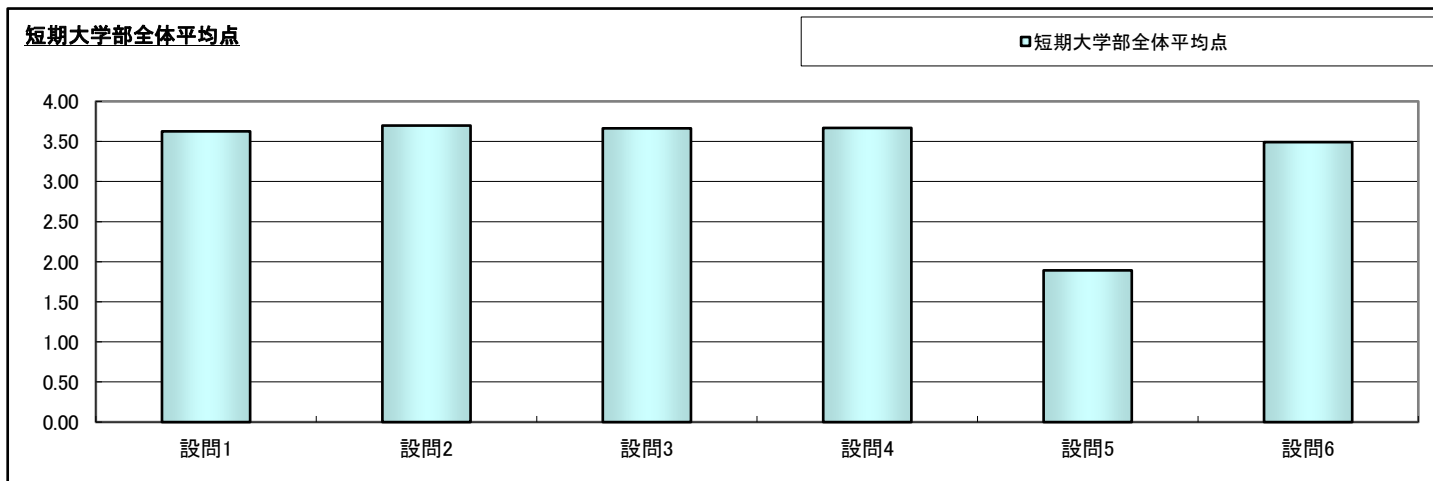
改善計画等

すべての設問の平均値において、昨年度の同学期（2021年度3学期）と比較したところ、わずかな変動は見られるが大きな変化はない。設問1（学生の意欲）、2（教員の熱意）、3（授業の工夫）、4（学修環境）に関しては、昨年度と同様に今年度も「④そう思う」の回答が65%以上を占めており、「③ややそう思う」の回答を加えると95%を超えている。また、設問1と設問2の相関においては96.7%（=761/787）が第1象限にあるところから、学生と教員が相互に努力して授業を展開していたことがうかがえる。設問6（学修到達目標の達成）に関しては、「④そう思う」の回答は49.2%と他の設問と比較すると低いが、「③ややそう思う」が46.8%であり、2つを合わせると95%を超えており大きな問題はなかったと感じる。設問5に関しても、昨年度の同学期と比較して、1.82から1.84とほとんど変化はない。2022年1学期の1.73、2学期の1.77と比較すると上昇傾向にあるが、まだまだ低い数字には違いなく、毎回のことだが、授業外学修時間を増やす対策が必要となっている。また、このアンケートの回答率だが、787/1151=68.4%であり、昨年度の3学期(72.2%)と比較すると多少減少している。ただし、2021年度の4学期は63.1%とここ数年でもっとも悪い数字となっていたが、2022年度からは70%弱へと多少よくなってはいる。ただし、80%以上だった2020年代と比べるとかなり減少しているため、対応が必要だと考えられる。外の業者に依頼をしている関係で難しいところもあるようだが、デジタルデータの強みを生かし、アンケートに回答していない特定の学生や特定の科目を抽出し、回答を促すなど、取ることができる対応をとっていきたい。なお、学科別のデータも示されているが、本短大はほとんどの科目が両学科共通科目であるため、ほぼ同一の科目についてのアンケート結果となっている。とくに今学期は全科目が共通となっており違いはなかった。

集計	短期大学部
----	-------

履修人数	2,839
回答者数	2,023

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.63	1,342	616	55	10	0	2,023
			66.3	30.4	2.7	0.5		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.70	1,468	511	33	11	0	2,023
			72.6	25.3	1.6	0.5		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.66	1,423	532	56	12	0	2,023
			70.3	26.3	2.8	0.6		
4	学修環境は適切でしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.67	1,419	551	40	13	0	2,023
			70.1	27.2	2.0	0.6		
5	授業時間以外で、この科目の授業1回当たりの平均的な学修時間はどの程度でしたか。(学修時間には、予習・復習・課題のほか、レポート課題作成、プレゼンテーションの発表準備、休み時間に関連事項のディスカッションをした、通学時間に関連事項を検索したなど全て含みます。) ④4時間以上 ③2～4時間未満 ②30分～2時間未満 ①30分未満	1.89	108	316	849	750	0	2,023
			5.3	15.6	42.0	37.1		
6	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.49	1,114	816	67	26	0	2,023
			55.1	40.3	3.3	1.3		



区分	短期大学部
----	-------

改善計画等

設問の平均値を昨年度の同学期（2021年度4学期）と比較したところ、ほとんどの項目が平均値にして0.1未満の変動しかない。設問1（学生の意欲）、2（教員の熱意）、3（授業の工夫）に関しては、今年度も「④そう思う」の回答が65%以上を占めており、「③ややそう思う」の回答を加えると95%を超えており、また、設問1と設問2の相関においては95.6%（=1933/2023）が第1象限にあるところから、学生と教員が相互に努力して授業を展開していたことがうかがえる。設問6（学修到達目標の達成）に関しても、「④そう思う」の回答は55.1%と他の設問と比較すると低いが、「③ややそう思う」が40.3%であり、2つを合わせると95%を超えており、全体として大きな問題はなかったと判断する。設問4（学修環境）に関しては、今年度も、昨年度に引き続きオンライン授業での学修環境も含んでいるため注意深く見守る必要があった。オンライン授業開始時期から下降傾向となっていたが、2022年度になって大きく良くなっており、ほとんどの期間を対面で実施できたことが影響していると考えられる。また、設問5の学修時間に関しては、昨年度の同時期の1.95と比較して今年度は1.89であり若干減少はしている。コロナ禍の2020年度およびこの2021年度については、2020年度の2学期に大きく増加したことを除けば、この2年間では減少傾向であるが、2022年度になり、少しずつ増加してきている。アンケートの回答率は、 $2023/2839=71.3\%$ と、多少良くなっている。3学期の改善計画にも同様の記述をしたが、デジタルデータの強みを生かし、取ることができる対応をとっていきたい。なお、学科別のデータも示されているが、本短大はほとんどの科目が両学科共通科目であるため、ほぼ同一の科目についてのアンケート結果となっており、特筆すべき点は見られなかった。